

研修事業について（案）

○学芸員専門研修アドバンスト・コース

令和5年度は海藻、顕花植物、真菌類における標本採集・作製及び収蔵・管理の方法等の研修を、令和5年11月6日(月)～11月9日(木)の4日間で実施し、6館6名（加盟館より5館5名）が参加した。

令和6年度については、11月上旬頃に海生無脊椎動物に関する研修の実施を予定している。

○オンライン学芸員専門研修

令和5年度は令和6年2月5日（月）、6日（火）に国立科学博物地学研究部による化石のプリパレーションや標本収蔵等について研修を実施し、27名32館（うち全科協加盟館園33名28館）が参加した。令和6年度については、令和7年1～3月頃に人類研究部による研修を予定している。

またほかにも、オンラインのメリットを生かせる研修テーマがあれば順次開催する予定である。

○海外科学系博物館視察研修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和4年度まで中止をしていたが、令和5年度は研修を再開した。

令和6年1月14日（日）～20日（土）にマレーシア・クアラルンプールとシンガポールに滞在し、19名8団体が参加した。

公式訪問として、ナショナル・サイエンス・センター・クアラルンプール、ペトロサイエンス、ザ・ディスカバリー・センター（クアラルンプール）、サイエンス・センター・シンガポール、シンガポール植物園（シンガポール）、自由訪問としてリーコンチェン自然史博物館（シンガポール）などを訪れた。

令和6年度は台湾での研修を予定している。

○海外先進施設調査

令和5年度は2名がそれぞれアメリカで施設調査を実施した。

令和6年度についても募集、実施を予定している。